センターだより　第30号　令和6年3月1日

イエス！

自分にイエス!⇔自己肯定感

白岡市教育支援センター

今年度をふりかえって

所長　蔦澤　透

センターでは、「社会的自立に必要な適応力の習得」をめざしています。具体的な目標を高等学校(学校教育法1条校)への進学とし、学習する力を身につけ、自己肯定感を育むことをめざしています。そこで、通室している児童・生徒に1年間をふりかえってもらいました。

1.学習する力(知識/理解・思考・学習意欲など)が向上しましたか

全員が「そう思う」と回答しました。支援員に教えてもらい理解が進んだことで、家庭学習にも前向きになったと言います。自分にあった家庭学習のやり方を見つけたという意見もあります。中学2年生は、行きたい高校があり、それに向けて頑張っているとのことです。そうです、学習する力を向上させるには、登校・通室しているだけではダメです。家庭学習で理解を深め、定着させなければいけません。長期休業前に示している「〇休みは家庭学習を充実させるチャンス」をしっかりと受け止めていることがわかります。

2.学習や生活について自信をもつことができましたか

これも全員が「そう思う」と回答しました。通室していることの自信と家庭やセンターで認められている実感が、自己肯定感の源となります。学力に自信をもつことが生活全般への自信につながったという自己分析もありました。

3.4月からどのような計画で進めますか

センターへの通室を前提として、進学や進級を登校する機会と捉えているようです。

4.センターは居心地の良い場所でしたか

全員が「そう思う」と回答してくれました。私たちにとってこの上ない褒め言葉です。

児童・生徒のみなさん、ありがとう。来年度も充実した日々を一緒に過ごしていきましょう。

センターだより　冬休み前 特別号 令和5年12月18日

イエス！ 自分にイエス!⇔自己肯定感 白岡市教育支援センター

冬休みは家庭学習を充実させるチャンス

所長 蔦澤 透

冬休みは家庭学習が重要になります。３学期に支援員がサポートしますので、しっかりと自学/自習をしてください。そのためのポイントを以下に示します。

まず、「家庭学習の大切さ」についてです。
学校教育は、教師が教育する(教える)ことをさしますが、児童生徒の立場から言えば学習する(学ぶ)場ということです。つまり、「教えられたことを理解するために学ぶ」場です。よって、学習とは「自分の力で学んでいく」ことと言えます。ですから、家庭学習が大切であることは自明の理です。

次に、学習時間の目安です。毎日５コマ(中学生は50分を１コマ、小学生は45分)を基本として、国語・社会・数学(算数)・理科・英語を１コマずつ勉強しましょう。中学生はプラス２コマ(小学生は１コマ)できると It's very good!。

続いて、学習方法です。「自分に合う方法を思いつかない」という人は、教科書の丸写しをしましょう。
読む・見る[インプット]↔書く[アウトプット]の学習になり、とても効果的です。

自学/自習では難しい、聞く(インプット)/話す(アウトプット)の学習は、３学期に支援員と一緒にしましょう。

この学習方法では、教科ごとにノートを用意します。ていねいに書くと後で見返したときに嬉しくなります。色をつけて強調するなどの工夫で達成感を味わえます。自分の考えを書き込んだり気持ちを表すイラストを入れたりして楽しんでください。さらに、わからない点や質問を書き留めておくと、支援員とのやり取りに役立ちます。

まとめに、学習は主体的に取り組むことですので、今一度確認のため強調しておきます。
[主体的=他人に依存せず、自分自身の意志や考えに基づいて行動する]
「できないことをできるようにする」
「わからないことをわかるようにする」という経験を積み重ねていきましょう。

春休みの運営

◆適応指導教室

3/26まで	開室<9:20～15:00>
3/27～4/7	閉室 <冬休み>
4/8から	開室<9:20～15:00>

◆通室相談 春休み中の開所日

3/27(水)・4/3(水)

おしらせ

年度ごとに通室手続きが必要です

令和６年度に通室するには、継続であっても、改めて通室の手続きが必要です。新学期になりましたら、担任を通して学校に意向を伝え、手続きをお願いします。

なお、年度当初は日にちを遡って通室開始日を決定しますので、手続きの意向があれば4月8日から通室できます。